資料２

令和５年度モニタリングについて

１　概要・目的

提案書に基づく取組み内容を検証するため、県民会議委員によるモニタリングを実施する。

モニタリングで得られた成果は、当該事業のみならず、県民会議を構成する各団体の取組みに反映させることにより、バリアフリーの街づくりの推進に向けた取組の改善に資する。対象事例及び団体は県民会議で選出し、モニタリング実施後、直近の県民会議で結果を報告する。

２　過去のモニタリング実施記録

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 対象事例・対象団体 |
| 第１回  平成26年１月19日 | ユニバーサルデザイン親子体験講座2013  【神奈川県茅ヶ崎保健福祉事務所】 |
| 第２回  平成28年１月14日 | 視覚障害者への理解・啓発事業の実施（小中学校の総合学習への協力）  【ＮＰＯ法人神奈川県視覚障害者福祉協会】 |
| 第３回  平成28年９月27日 | 知的障害・発達障害者への理解・啓発事業の実施  【座間キャラバン隊】 |
| 第４回  平成30年２月23日 | 音楽活動による知的障がい者の就労支援  【特定非営利活動法人　Ｍｕｓｉｃ　ｏｆ　Ｍｉｎｄ】 |
| 第５回  平成31年３月22日 | ファンケルメイクセミナー  【株式会社ファンケル】 |
| 第６回  令和４年８月10日 | 多感覚で楽しむアート展「美術館まで（から）つづく道」  【公益財団法人茅ケ崎市文化・スポーツ振興財団　茅ケ崎市美術館】 |

３　令和５年度の実施について

　資料５の「提案内容の実践及び先進事例について」もしくは、参考資料４の「神奈川県バリアフリー街づくり賞」の受賞事例等の事例も参考に、モニタリング対象事例を選定する。

※この数年は、上記から訪問事例を選定

＜次回の訪問先（例）＞

・茅ケ崎市の取組（市立小学校における「心のバリアフリー教室」の実施）

　　　令和元年度より開始。障害当事者１名、補助者１名、児童６名で班を作り、対話や体験（視覚障害者の誘導や車椅子の乗車体験等）を通じて障害に対する理解を深めている。（詳細は参考資料５、６参照）